



代議員会 三条大会によせて

－マネージャーとプロデューサーを兼ね備えたリーダーへ－

新潟県小学校長会長 山田 浩之

この3年間、私たちは、突然に、しかも次々と現れる新たな課題に追われ続けました。この間に比べ、現在は、各小学校の取り組みも落ち着きを見せつつあります。例えば、新型ウイルス感染防止への対応もある程度見通しが立つようになり、GIGA 端末も恒常的な利活用の段階に入ってきました。また、学校と地域とのかかわりも、回復の兆しが見えているのではないのでしょうか。

では、3年前に時計の針を戻したとして、感染禍前に各学校が抱えていた課題は、解決しているのでしょうか。元来、学校が抱える課題は、一朝一夕には、解決できないものが多いと感じています。この3年間の課題に追われる中で取り残された、その学校の課題がないか、今こそ、自らの学校を見つめ直す時です。そして、私たちは、課題解決のマネージャーとして職員の先頭に立ち、校長としての役割を果たしていく必要があります。

さらに、時代は、待ったなしに動いています。「先が見えない」や「将来予測が困難」という言説があふれている中、校長は、未来を探ろうとするだけでなく、自ら未来を作っていく気概が必要です。校長が創る未来は、目の前の子どもの未来であり、今自分が佇んでいる学校の未来です。私たちには、未来をプロデュースする役割が与えられています。

本日、県内各地から代表校長が一堂に会し、令和5年度代議員会三条大会を開催できますことを嬉しく思います。感染対策を講じながら安全な大会運営を実施していただいた三条市校長会、関係の教育委員会の皆様に感謝申し上げます。

本日の代議員会を経て、新潟県小学校長会は、令和5年度の活動を開始します。まずは、各地域の校長会と教育委員会の連携を後押ししてまいります。上でも述べたように、各校の課題解決と未来への学校づくりにおいては、地域の教育委員会との連携なしには進められないからです。また、県小学校長会としては、子どもの数、学級数、学校数が減少する時代における会の組織と活動についても研究する必要があります。さらには、令和7年度に開催される関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会への準備を進めていきます。

結びに、日頃よりご指導をいただいております新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県中学校長会、並びに様々なご支援をいただいております関係団体の皆様に心より感謝を申し上げ、代議員会開催のあいさつといたします。